



ガス害 による根張り不良……

秋落ち 倒伏

高低温障害

一発解消!

ガスヌキドン

4kg×5袋/ケース



ガスヌキドン処理で水がきれい……葉もイキイキ!

ガスヌキドンは水田等で稲株や作物残サ・生有機物投入等により発生するガス(硫化水素)をエサに増殖する光合成細菌を純粋培養し、さらにセラミック粒に吸着させ、播きやすくした理想的なガス害対策資材です。



ガスが湧いたら

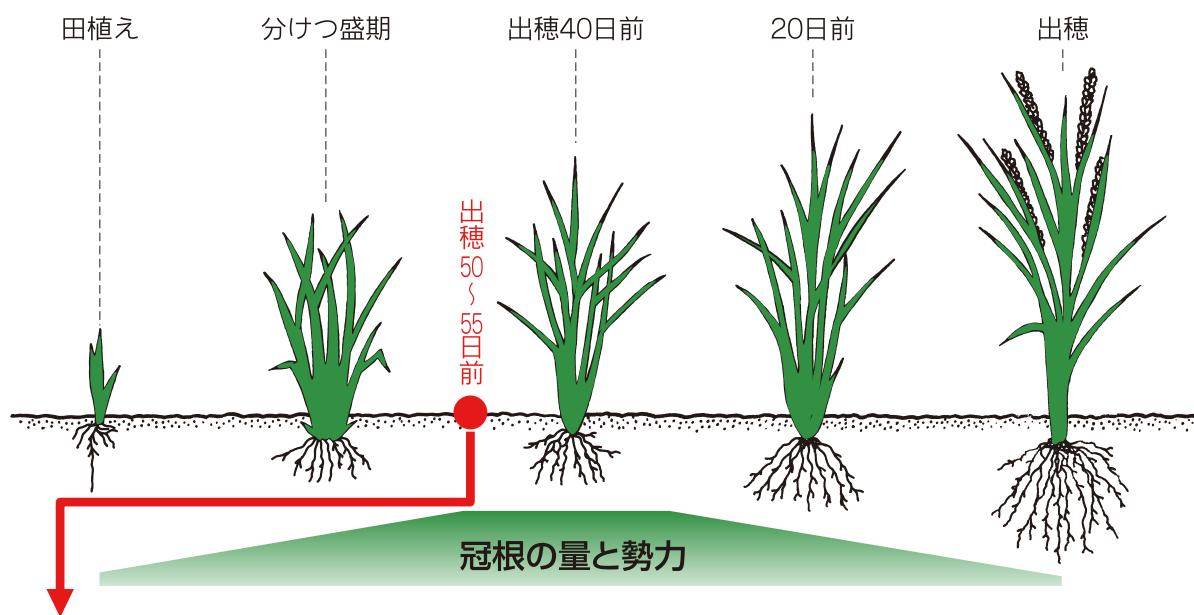
ガスヌキドン

強力光合成硫黄細菌

<冠根の量と勢力が良食味米増収のポイント>

最高分けつ期頃(出穂50~55日前)の第6~7節間から伸びる冠根の傷み(ガス害)は下葉の枯れ上り、秋落ち、倒伏を引きおこし、良食味米の増収は望めません。下図を参考に十分なガス対策を行いましょう!!

稲の生育ステージ



出穂50~55日前



- ① 伸びたばかりの根は葉でつくられたでんぷんで伸びている。
 - ② さらに伸びた根。
 - ③ 出始めた細根が養分吸収を盛んに行う。
 - ④ 伸びきった根は、養分吸収を盛んに行う。
- ①、②がガス障害を受けると細茎・浅根・小穂となり倒伏、秋落ち、品質・食味低下を引きおこす大きな原因となる。

ガスヌキドンの使い方<水稲>

○代かき前、またはガスのワキ始めから7月中旬頃まで10アール当り4kg(1袋)を全面散布する。
 ※水稲以外のレンコン・イグサ・ジュンサイ及び畑作物のガス対策にも使えます。詳しくは下記までお問合せ下さい。

取扱

製造・発売元

株式会社 **ジャット** <http://www.jaht.co.jp>

本社：〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4-2-4
 TEL 06-6121-4300 FAX 06-6121-4302
 北海道(札幌) 東北(仙台)
 関東(さいたま) 大阪(大阪)
 九州(久留米) 南九州(宮崎)